【2020年10月 月間予定表 ―修学院校―】

10月の予定		
1	木	第4回中3V模試開始
2	金	休校日
3	土	「土曜特訓」(中3対象)
4	日	
5	月	学習報告会開始
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	休校日
10	土	休校日
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	休校日
15	木	
16	金	休校日
17	土	「土曜特訓」(中3対象)
18	日	
19	月	
20	火	休校日
21	水	
22	木	
23	金	休校日
24	土	休校日
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	休校日
31	土	「土曜特訓」(中3対象)

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【8月度のMVP】

●小5　T・Y　くん

自習教室の利用頻度が *NO.1！！*
この調子でどんどん勉強しよう！

【 当たり前って、当たり前？ 】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。
今月も山之口が筆を執ってお送りします。お付き合いくださいませ。

前回は富山を旅していましたが、今回はその続編です。
富山湾を経て、石川県の能登半島をぐるっと回ってきました。
能登半島には1000年以上の歴史をもつ朝市があります。日本三大朝市の一つです。
道には露店が並び、海産物を売るおばあちゃんたちの「買うてくだ～」の声が響きます。

朝市には、能登半島地震の災害ボランティアで出会ったおばあちゃんが働いています。
この日も元気にお商売をされていました。

山之口「ばあちゃん、久しぶり！お元気そうですね。」
おばあ「おう、エビ買うてけ」
山之口「前に来たときよりお店が減ったような気がします。寂しいですね。」
おばあ「エビ、買うて」

・・・いえ、決して無視されているのではなく、これはおばあちゃんなりの挨拶なんです（笑）
震災直後にお会いしたときも、同じ調子でした。

私が現地入りしたのは災害から約1週間後でした。
当初自治体はボランティア受入に難色を示しており、なかなか動けずにいました。
現地へは輸送バスが出ていましたが、迷惑をかけまいと大阪から自転車で向かいました。
今の私の余暇の過ごし方は、ここにルーツがあるのかもしれません（笑）

活動の合間、朝市に出店している人がいると聞き、興味本位で向かいました。
震災直後でしたが、既にポツポツと出店しているおばあちゃんたちの姿が。
観光客なんて来るはずもないのに、どうしてお店を出すのかと聞いてみました。

おばあ「だってお店が出なかったら、皆が困るから。」

市場は本来、地元の人のためのもの。日常を守るもの。
いくら地震に家を壊されても、日常が壊されてはいけない。
守るものは、守る。守れるものは、他の誰でもない私が守る。

かつての私塾というものは、知識を授けるためだけにあるものではありませんでした。
先生の想いに触れて自分の考えを昇華させたり、その考えを同じ塾生と戦わせたりと、
塾は、心を鍛える場でもあったのです。

教育の世界においても、今年は試練の年です。
授業前や休み時間に、当たり前のように生徒の想いを聞けるということ。
教科の枠を超えた想いを、当たり前のように生徒に伝えられるということ。
当たり前を、日常を守るということは、変わること以上に難しいことだったんですね。

「失いたくない」という独りよがりな想いは、「守る」という想いに変わりました。
おばあちゃんの想いに触れて、少し大人になれた気がします。

無事、私にエビを買わせたおばあちゃんは、次のお客目掛けて声を上げていました。
観光客が激減した今もきっと、地元の人がいる限り、元気な声が響いているでしょう。

桝辻南校高等部WAYS主任　山之口　翔

◇立誠名物『超ハードな夏期講習』を乗り切った中3生。その中から成績優秀者を選定しました。毎日毎日宿題に追われながら夜中まで勉強・・・。本当によく頑張りました。

《最優秀者》 F・Y　さん（数学の夏期中間テストで全校舎1位獲得！！！）

《優秀者》 N・Mさん　O・Aさん（宿題、小テストの取り組みがエクセレント！）